

品質評価技術研修のご案内

主催：（地独）北海道立総合研究機構 産業技術研究本部
工業試験場、ものづくり支援センター

昨今、近年の少子高齢化に伴う人材不足問題が話題となる中で、道内製造業でも製品品質を保つために、外国労働者の採用やロボットや新型測定機の導入などに取り組む企業が増えてきました。そのような中で、これまで保有している製造ノウハウを、いかに保持・継承していくか、悩まれている企業の話も多く聞かれます。昨年度の品質評価技術研修では、技術・技能伝承をテーマに実施いたしました。

今年度もその重要性を鑑み、再度、技術・技能伝承のための講演及び作業分析の演習を実施いたします。加えて、工業試験場に年内に導入予定の新型3次元座標測定機の紹介を行います。

ご興味のある方の参加をお待ちしております。

募集要項

募集対象：製造企業経営者、工場長、生産・検査技術部門リーダーなど。または技能伝承に興味のある方。

募集人数：20名（原則1社2名までの先着順。ただし、申込状況により増員可能）

受講料：無料

2019年度 品質評価技術研修スケジュール

	開催日程（予定）	開催場所	内容・講師
第1回	9月6日（金） 14時-17時	工業試験場 （札幌市）	「技能伝承を阻害する5つの誤解」 トリニティ・プログラム 代表 野中帝二氏
第2回	9月20日（金） 14時-17時		「中小企業向け 技能伝承の進め方（演習付き）」 トリニティ・プログラム 代表 野中帝二氏
第3回	12月12日（木） 13時-16時		「マルチセンサ測定機」の紹介 ※測定デモを予定します インダストリアルクオリティソリューションズ アプリケーションスペシャリスト 福原 明彦氏、 および工業試験場担当者（神生、三戸）

※詳細日程等は、決まり次第、参加者にご連絡いたします。

（注意）申込時に、参加希望回をご記入ください。ただし、第1回・第2回は連続内容のため、第2回（演習）参加希望の方は、第1回の受講が必要です。

【講師紹介】トリニティ・プログラム 代表 野中帝二氏

東京理科大卒。千葉県我孫子市在住。中小企業診断士。
富士通総研などで、中堅・中小企業向けの経営コンサルティング業務
2015年 トリニティ・プログラム設立
のべ150社以上の中小企業を支援
月刊「工場管理」（日刊工業新聞社）など著述多数



【研修内容に関するお問い合わせは】

地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 工業試験場 製品技術部 かみお 神生 まで
〒060-0819 北海道札幌市北区北19条西11丁目
TEL：011-747-2379（ダイヤルイン） FAX：011-726-4057（総務課 FAX）
E-mail: kamio-naotoshi@hro.or.jp URL: <http://www.hro.or.jp/iri.html>

この研修は、地域活性化雇用創造プロジェクト事業の一環として北海道から委託を受けて実施されます。
参加頂いた企業の皆様には、研修会参加後の雇用面での取組や雇用実績などの調査をお願いしております。



地プロHP

お申込みは、FAX 番号 011-726-4057
または メール : kamio-naotoshi@hro.or.jp まで

参加申込書

地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 工業試験場 製品技術部 神生 行

「2019年度 品質評価技術研修」について、次のとおり申し込みます。

2019年 月 日

会社名等					
受講者氏名①	(カナ)		参加希望回 (○印を記入)		
			第1回	第2回 (要 第1回参加)	第3回
所属・ 役職名 E-mail					
	@				
受講者氏名②	(カナ)		参加希望回 (○印を記入)		
			第1回	第2回 (要 第1回参加)	第3回
所属・ 役職名 E-mail					
	@				
所在地	〒 -				
	電話番号 () - FAX 番号 () -				
申込担当者名 (受講者と異なる場合)	E-mail				
技術・技能伝承で困っている事や3次元座標測定について、研修会で聞いてみたい事があれば、ご記載ください。					

※昨年度受講者の方は、会社名と氏名だけで構いません(ただし、連絡先変更の場合はご記入ください)